

# 強い霜に対する農作物の技術対策

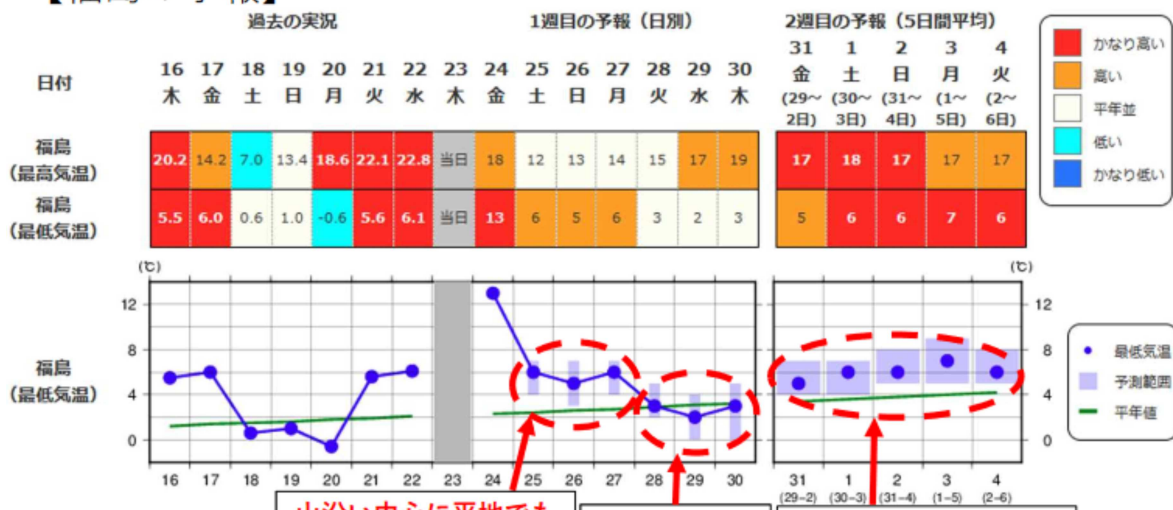
福島県農林水産部農業振興課

令和5年3月23日15時に福島地方気象台から発表された「3月24日から2週目までの気温の見通し」では、3月25日から27日にかけては山沿いを中心に平地でも降霜が予想されており、特に28日から30日朝にかけては、平地でも強い霜が降りる可能性があるとして予想されています。

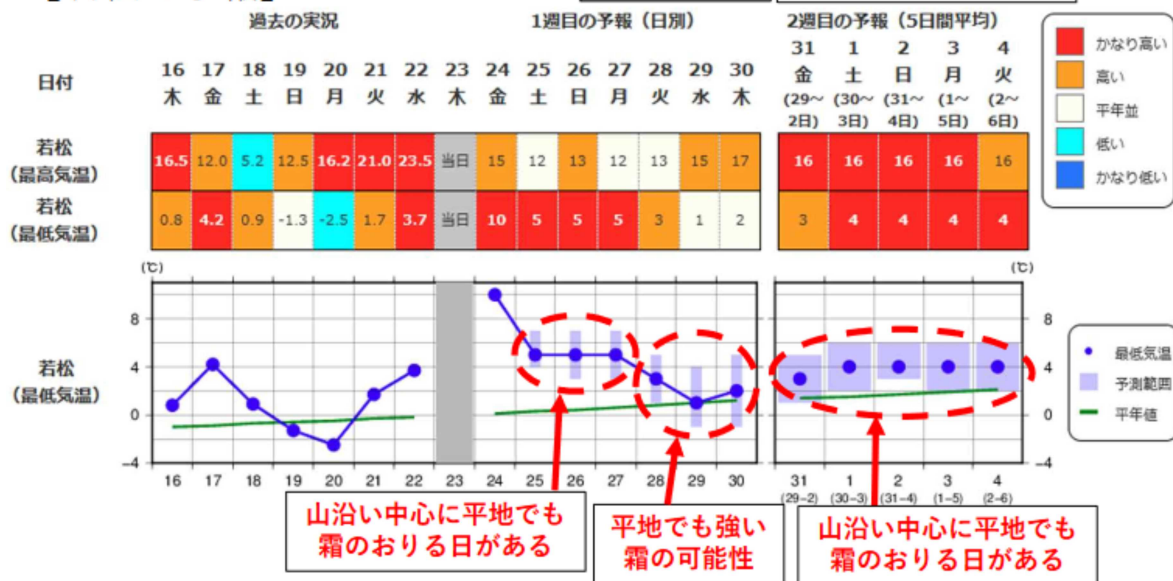
今後の気象情報に注意するとともに、農作物の管理には十分注意してください。

<3月24日から2週目までの気温の見通し 令和5年3月23日発表 福島地方気象台>

## 【福島の予報】



## 【若松の予報】

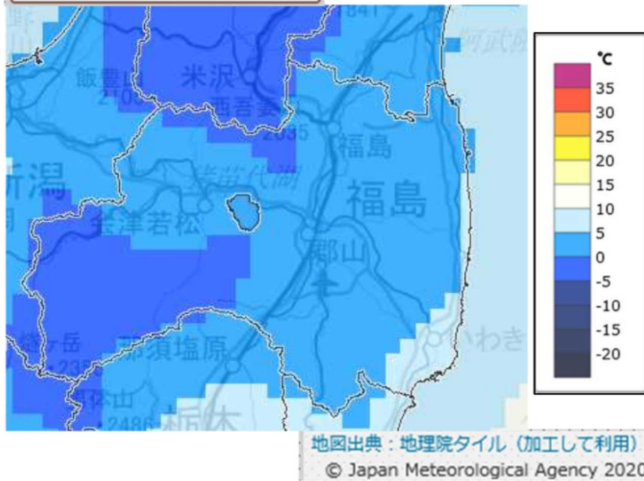


なお、令和5年3月28日に福島地方気象台から「明日（28日）の霜の見通し」が発表されました。明日（28日）の朝は、最低気温が平地で2℃前後、山沿いでは氷点下1℃前後になる見込みです。最低気温は、29日、30日にかけて同様の予報であり、注意が必要です。

## 「明日（28日）の霜の見通し」

令和5年3月27日12時 福島地方気象台発表

朝の最低気温 3月28日の予想  
(2023年3月27日11時発表)



- 最低気温(低い所)  
山沿い  
氷点下1°C  
会津平地  
1°C  
中通り・浜通り平地  
2°C
- 平地でも霜のおり  
る所がある見込み。

中通りは、山沿いを中心に平地でも霜のおりる所がある見込み。  
会津は、平地でも霜のおりる所があり、山沿いでは強い霜の可能性はある。  
浜通りは、山沿い中心に霜のおりる所がある。南部平地では霜の可能性は低い。

気象庁 [営農活動に役立つ気象情報] <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

農業振興課のホームページに、「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和5年3月15日）」を掲載していますので、活用願います。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

## 【果 樹】

現在の果樹の生育は、もも、なし、りんご、おうとうが発芽し、特にもも、なしでは開花に向けて蕾が膨らみつつある時期となっています。生育が進むにつれ、耐凍性が低下し凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。

### 1 防霜対策

#### (1) 事前対策

事前対策として、防霜資材の手配と準備を万全にするとともに、地温の上昇を図るため、下草を5cm程度に刈り込みましょう。

また、空気や土壌の乾燥は気温の低下を助長するため、適宜かん水を実施し、土壌水分の確保に努めましょう。

#### (2) 防霜ファン（送風法）

防霜ファンを設置している場合には、サーモスタットの設定温度（2～3°C）を確認し、正しく稼働することを確認しましょう。

#### (3) 燃焼法

燃焼資材を事前に確認し、必要な量を速やかに確保しましょう。

燃焼法を実施する場合には、園地内の気温を観測しながら、安全限界温度より1°C高い温度を目安に点火を判断しましょう。

#### (4) 事後対策

降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉の徹底により結実確保を図りましょう。

#### 2 発芽状況（福島県農業総合センター果樹研究所、3月23日現在）

ももの発芽は、「あかつき」が3月16日で平年より8日、昨年より11日早くなりました。「ゆうぞら」が3月17日で平年より8日、昨年より10日早くなりました。

なしの発芽は、「幸水」が3月22日で平年より10日、昨年より10日早くなりました。「豊水」が3月20日で平年より10日、昨年より9日早くなりました。

りんごの発芽は、「つがる」が3月17日で平年より9日、昨年より12日早くなりました。「ふじ」が3月17日で平年より10日、昨年より13日早くなりました。

おうとうの発芽は、「佐藤錦」が3月22日で平年より8日、昨年より9日早くなりました。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意してください。

表1 発芽状況（農業総合センター果樹研究所、3月23日現在）

樹種	品種	発芽		
		本年	平年	昨年
もも	あかつき	3月16日	3月24日	3月27日
	ゆうぞら	3月17日	3月25日	3月27日
なし	幸水	3月22日	4月1日	4月1日
	豊水	3月20日	3月30日	3月29日
りんご	つがる	3月17日	3月26日	3月29日
	ふじ	3月17日	3月27日	3月30日
おうとう	佐藤錦	3月22日	3月30日	3月31日

注) 平年は1991～2020年の平均値

### 【野菜・花き】

#### 1 育苗・施設栽培

無加温ハウス内の作物には、カーテン、小トンネル、保温マット等を被覆し、補助暖房器具を用意して温度の確保に努めましょう。ストーブ等補助暖房器具を燃焼させた場合には、換気をしてからハウス内に入るようにしましょう。

日中晴れてハウス内が高温となった場合には、換気を行い、作物が軟弱な生育をしないように努めましょう。

#### 2 トンネル・露地栽培

トンネル栽培ではビニル等に加え、不織布等の資材を被覆し、保温に努めましょう。

露地栽培では無理な早まき・植付けは行わず、既に植付けした場合は、トンネルやベタがけ資材の被覆により保温に努めましょう。

被害が発生した場合は、欠株の補植、速効性肥料の施用等適切な肥培管理により草勢の回復を図りましょう。

#### 3 アスパラガス

施設栽培では、夕方早めにハウスを閉めて保温に努めましょう。凍害を受けた若茎は除去し、次の萌芽を促しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>